



シリーズ9

繊維はおもしろい

テキスタイル塾講師

整理担当 門倉 福雄

繊維は長い年月、衣料素材として親しまれていますが、昨今では革新真っ盛りです。科学技術によって従来にない性能をもったものや、機能をもったものがどんどん新素材として登場しています。生活資材から産業資材まで幅広い分野で貢献しています。

軽くて丈夫なスーパー繊維が登場し金属に代わって宇宙、航空用に採用されだしました。その他でも自動車や超高層建築の軽量化や東海地震対策などにも注目されています。繊維の未来は無限だと考えます。

さて衣料では赤ちゃんの産着から数字になり難い、感触、色彩、風合いといった微妙な差がもてはやされています。感性の時代です。物質過剰の時代を迎え消費者の感性の高さ、品質の良さ、自己同一化の傾向がますます生

活文化の向上に育て上げています。

私たちの課題は、消費者構造の変化をにらみ技術の開発に積極的に取組み、いかにニーズに応えるかでしょう。尾州産地を考えるとウール抜きでは考えられません。

一口にウール（獣毛）と言っても千差万別でファインウールからシロップシャー、リンカーンに至るまで色々です。

スーパー糸は使用原料の平均繊度をもとに0.5マイクロン刻みで基準が設けられています。

スーパー 80（19.5マイクロン）～210（13.0マイクロン）まで14にワイド化されています。以下サンプルを提示できないのが残念ですが繊度と組織、撚糸によってフェルトの進行状態が大きく異なります。

同一条件ロットの縮絨表

	経 糸	緯 糸	組 織	幅縮(%)	丈縮(%)
○	2/48 w/レギュラー糸	経糸に同じ	2/2	5.0	6.0
○	2/18 w/甘撚	2/18 w/甘撚 2/36 w/甘撚	変化織り	53.0	50.0
○	2/60 w pe/ 77%	経糸に同じ	平織り	0.6	0.4
○	2/60 wスーパー 90	経糸に同じ	2/2	8.0	7.0
○	2/60 wスーパー 130	経糸に同じ	2/2	19.0	20.0

他の繊維では見られませんが、ウールはフェルト（縮む）する特性があります。利点であり、欠点でもあります。今更言うまでもありませんが、ウールは暖かい、通気性、撥

水性、伸縮性、染色性、発色性、加工し易い、環境にやさしい等々数えきれない程数多くの利点をもっています。ウールが繊維の王様と言われる所以でしょう

<私が心がけている物作りポイント>

- ① 自然から学ぶ
- ② 会話からヒントを探す
- ③ 無い物を作る
- ④ 発想の転換（逆転の発想）
- ⑤ 異業種からのヒントを探す
- ⑥ 街を歩く（ニーズは？）
- ⑦ 現場を見る
- ⑧ 旅行（文化生活習慣）